




80歳の列島あるき旅 石川文洋写真展 フクシマ、沖縄…3500キロ

2020
10/3_土▶12/20_日

会場 ニュースパーク(日本新聞博物館)
2階企画展示室

開館時間 10:00~16:30(入館16:00まで)※新型コロナウイルス対応
休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
主催 共同通信社/ニュースパーク(日本新聞博物館)
後援 神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/川崎市教育委員会
協賛 大塚製薬工場/大塚オーミ陶業/株式会社ニコンイメージング
ジャパン
入館料 一般400円/大学生300円/高校生200円/中学生以下無料

 ニュースパーク
日本新聞博物館



80歳の列島あるき旅 石川文洋写真展 フクシマ、沖縄…3500キロ

戦場カメラマンが捉えた日本のいま

北海道・宗谷岬から沖縄まで約3500キロ。日本列島を歩き通した報道写真家の長大な旅の軌跡が、写真とともによみがえる一。

ベトナム戦争の従軍取材で知られる石川文洋さんは2018年7月から19年6月まで11カ月をかけ、日本の北から南まで踏破しました。80歳の挑戦です。ゴール時には81歳になっていました。高齢に加え、心筋梗塞の既往症も乗り越えた快挙でした。

北海道の雄大な自然を撮影した後、本州に渡った石川さんは東日本大震災や東京電力福島第1原発事故、阪神・淡路大震災、熊本地震などの被災地を訪れ、まだ癒えぬ傷痕を記録しました。また三沢や岩国などの米軍基地を巡り、郷里の沖縄では米軍基地建設で揺れる名護市辺野古や嘉手納基地、普天間飛行場などを撮影しました。

本写真展では、石川さんが旅の途中で撮った約3万5000枚の写真の中から約120枚を厳選して展示します。使用した靴やリュック、衣類、筆記用具のほか、年表や徒歩ルートを書いた日本地図も会場に並べ、前人未踏の偉業を多角的に振り返ります。



2018年 広島県広島市



2018年 北海道旭川市



2018年 福島県双葉町



2019年 山口県宇部市



2019年 沖縄県名護市



2018年 後方は東京電力福島第1原発

石川文洋 報道写真家

1938年那覇市生まれ。65年1月から68年12月までベトナムのサイゴン(現ホーチミン)に滞在、南ベトナム政府軍や米軍に従軍してベトナム戦争の最前線を撮影した。カンボジア、アフガニスタンなどの戦場や沖縄の基地問題の写真でも知られる。著書に『戦場カメラマン』『フォト・ストーリー 沖縄の70年』『日本縦断 徒歩の旅』『ベトナム戦争と私』など。

石川文洋オープニングトーク(講演) 10/3(土) 10:30~12:00

- 会場: ニュースパーク2階「イベントルーム」
- 参加費: 無料(別途入館料が必要)
- 定員30名(予約制・先着順)

住所、氏名、年齢、電話番号、人数をご記入のうえ、「Eメール」でお申し込みください。

npevent@pressnet.jp



みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口(情文センター口)直結
JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
首都高速「横浜公園出口」から約3分